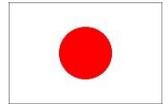




国際ボランティア非政府非営利団体(NGO)
USHA JAPAN

www.ushajapan.org



USHA Japan News Letter No.1

April 27, 2020 はじめに

ネパールにご縁を得た仲間が集い、本会が2018年10月に創立されて1年半が経過しました。この間、初代会長 Prakash がネパールにおいて特定技能人材の育成組織を立ち上げるのに伴い、2019年度総会において役員改選が行われて小野一男がピンチヒッターとして会長に選出され、新役員の下で新たな組織が構築中です。本会の組織や役員そして活動はHPに掲載しておりますが、現在の情報化時代に対応した会務や情報交換の推進を図るために、規約やHPの見直しなどを進めております。

その一環として、会員との双方向の情報交換網の構築を図り、HPによる受け身の情報発信から直接に会員へメールを発信して、本会の活動へ皆様の参画をお願いしたいと存じます。

そこで、この度 **USHA Japan News Letter** を創刊しましたのでお届けします。今後、季刊として本会の活動や会務などタイムリーなニュースをお届けしますので、双方向性情報交換ツールとして、ご意見や近況など話題提供を編集室へお願い致します。
(会長 小野一男)

会務執行について

規約に則り毎月の定例理事会で活動方針が審議され、業務分掌に基づき会務が執行されます。役員と業務分掌は本会規約とともにHPに掲載されているので参照ください。



理事会

About USHA JAPAN

USHA JAPAN is an organization established by the Japanese members who are closely associated with Nepal, and Nepalese members who have come to Japan and have established a life in Japan. The goals are to support Nepalese to adjust their life in Japan and, playing a role in improving the social condition in Japan as well as in Nepal.

USHA JAPAN has started the activities with the following goals. We look forward in getting the support of individuals or organizations who like to support our activities.

Activity goals

Activity Goal 1: Supporting Nepalese students for higher study and employment

Activity Goal 2: Support for Nepalese workers visiting Japan with specific skills

Activity Goal 3: Regional Contribution

Activity Goal 4: Supporting the creation of a healthy and prosperous society in Nepal

Please refer to USHA Japan HP

Writer; Dr. Taranidhi Lohani

2019 年度から新たにプロジェクトチーム方式でそれぞれの活動が企画され推進しています。

プロジェクトチームについては先頭のメンバーがプロジェクトマネージャーで、各チームにおいて企画立案と運営および成果報告を行います。

- 外部協賛助成 **Dr. Taranidhi Lohani**、Dr 井上 亘、Mr. Prakash Acharya
Mr Jeet B. Sapkota

(クラウドファンディング検討) (アドバイザー: Dr 酒井ひろ子)

- 情報・広報 **Dr 井上 亘**、田端省三、井村聡子、Mr. Bimal Sapkota
Mr. Purushottam Lamichhane (メディア)

- 教育・啓蒙 **Dr. Dinesh Neupane**、Mr. Bimal Sapkota、島田杏子

- 生活・保健支援活動 **Mr. Purushottam Lamichhane**、富永博夫

- イベント・ボランティア活動 **Mr. Kailash Chandra Thakur**
シニアボランティア、学生ボランティア

事務局

井村聡子 (事務局長)、滝井万佑子 (会計)、島田杏子 (情報)
橋本信雄 (監事)、金子哉子 (監事)

活動方針

規約第 4 条事業(1)のネパールからの留学生の受け入れ組織体制の整備と生活支援事業に基づき、社会福祉法人 洗心会 特別養護老人ホーム「ときわ」および人材登録会社「Dogwood」と協力してネパールからの特定技能人材の受け入れ、就労を支援するとともに、日本とりわけ関西で働き、学ぶネパール人の組織「日本非居住ネパール協会(NRNA Japan)」と協力して生活支援活動を行います。

また、同じ第 4 条(2)のネパールの人々への健康で豊かな国づくりへの支援事業に基づき、ネパールにおいてDeepshreeメディアグループが行う保健活動を支援します。

これらの活動を行うためにプロジェクトチームが編成されて、会員の皆様のご理解とご協力を得て活動が行われますが、会員の皆様には総会で会うだけでなく、NRNA のネパールコミュニティーの催しに参加をいただき、異文化交流を図ります。

会務は社会のグローバル化や情報化を反映した双方向性の情報交換網を構築して迅速性とオープン化を推進し、会員の皆様とはメールや Face book で交流を図り、理事会は従来の理事が集う会議方式を原則としながらも、有効な時間の活用を図るために情報ツールを使ったリモートワーク会議方式の導入が検討されています。

Topics

コロナウイルス感染症(Covid-19 Pandemic)の流行拡大



Yahoo 画像

Topics としては余りにも深刻なニュースとなりました。

世界の感染者数 386 万人、死者数 27 万人超え、日本の感染者数 15475 人、死者数 600 人超えとなりました。(May 9, 2020 現在)

コロナウイルスは風邪ウイルスの一種ですが、変異を起こすと先年の SARS や MERSE のように強い病原性を持ち、重症の呼吸器疾患を起こします。今回の Covid-19 は強い感染力と病原性を有して潜伏期間 2 週間と長くてキャリアも多く、発症から両肺への炎症が早くて治療後の再燃も認められ大変厄介です。日本ではクラスターが多く発生しており、オーバシュートそして医療崩壊の瀬戸際ということで全国に緊急事態宣言が発出、5 月末まで延長となり国民の自粛、行動変容が求められます。今回の Covid-19 Pandemic は世界の社会を大きく変貌、転換させることになるかと思われます。

本会の会員には、教育や医療関係者が多く、またネパール人役員の中には自営業やホテルなどのサービス産業に従事している方も多く、社会・経済活動が大変困難な状況にあります。

主な活動記録

*三木ライオンズクラブ(MHLC)からの助成について

予てより MHLC は国際貢献事業としてネパールへの医療や人材育成支援を継続的に実施しており、この度、創立 40 周年記念事業の一環として、実際にネパールで公益事業を行っている若い団体へ活動助成を行うということで、本会が団体の推薦を担うことになりました。そして関係団体と調整の結果、本会も支援しているネパールで特定技能人材育成を行っている HANAMIZUKI と女性や子どもたちの保健活動事業などを行っている Deepshree メディアグループが推薦されました。

そこで本会の生活・保健支援活動プロジェクトとして、Purushottam Lamichhane リーダーと富永博夫理事が事業担当として本活動を推進します。

2020 年 1 月 28 日に三木のともえ会館大会議室で行われた MHLC 例会に担当と小野会長が出席し、スライドを用いて推薦された両団体の紹介を行いました。尚、本年 11 月 3 日の創立 40 周年記念式典において助成の披露が行われる予定です。助成は実際に活動で使用される機材類の贈呈となる予定です。



MHLC 例会

*ネパール介護「人財」セミナー開催について

本会の活動理念に則り協働している Dogwood 主催のネパールで特定技能試験と日本語試験に合格したネパール介護人財を受け入れる介護施設を対象としたセミナーが開催されました。

第 1 回セミナーは 2 月 10 日に三宮の 120 WORKPLACE KOBE 大会議室において行われ、Taranidhi Lohani 副会長と小野会長が出席し、本会の活動をスライドで紹介しました。

第 2 回セミナーは 3 月 10 日に明石のニューキャッスルプラザにおいて行われ、富永理事と小野会長が出席し、本会の活動をスライドで紹介しました。

* 活動成果発表について（コロナウイルス感染症流行拡大により学会中止）

「ネパールにおける在留資格「特定技能」に関するセミナーの実施」

日本国際保健医療学会西日本地方会 2020年3月7日 香川大学 幸町キャンパス

昨年5月にネパールカトマンズ市において「特定技能」に関するセミナーを実施し、その時に行った特定技能への意識調査結果を発表した。

* ネパール「ダサイン祭り」への参加

2019年10月5日に大阪ジググリインディアンネパールレストランアンドバーにおいて関西のネパール学生が主催するダサイン祭りに富永理事と小野会長が出席し交流を深めました。参加者は約50名で、ネパールダンスなど盛り上がり大変盛況でした。



* 在日ネパール人の新年音楽プログラムへの参加

2020年1月1日に大阪ヒルトンホテルにおいて、NRNAが企画した新年の音楽プログラムに富永理事と小野会長が出席し交流を深めました。参加者延べ500名でNRNAの役員とも交流を深めました。



事務局より

総会の準備を進めており、会計報告も整い、近日に会費納入案内を行います。

会員の動静

- ・元副会長柳田潤一郎顧問は、ほぼ一年におよぶ闘病を経て社会復帰されましたが、記憶リハビリの通院加療のため、会務連絡を控えています。
- ・金子恵津子顧問は、1月中旬に帰国して検診後に両眼の白内障の手術を受け、余りにも物が良く見えるので、見たくないものも見えるとのこと。コロナ後にネパールへ帰る？予定。
- ・サービス事業・産業に従事されている Kailash Chandra Thakur, Mr. Bimal Sapkota, Mr. Bimal Sapkota 各位は困難な状況下で活躍されています。

ネパール支部便り

- ・支部長 Shiba Kumar Rai の愛娘の Junu Richhinbung 理事が2月12日に結婚されました。
- ・例年5月の Rai 先生の大学講義のための来神は、コロナのために来年となりました。

編集長からのメッセージ

ゴールデンウィークも外出自粛要請が出され、この先も Covid-19 Pandemic は予断の許せない心配な日々が続いております。出来ることは「One World Together at Home」で、①密閉空間 ②密集空間 ③密接場面の「3 つの密」避けてステイホームとなりました。地元神戸の神戸中央市民病院の研究グループの発表では外来患者の約 3%に Covid-19 の抗体陽性が見られたとの報告が発表され、感染は地球規模で広がっております。ネパールとの国際交流を基本に成り立つ本会としては Covid-19 Pandemic の沈静化と、その後の確実な活動を願っています。会員皆様の一層のお力添えを頂いてこの難局を越えて一日も早くネパールの研修生を迎えたいと思います。

Covid-19 Pandemic の沈静化を願いつつ。(田端省三)

編集室から

この度の Covid-19 Pandemic の感染拡大に伴い本会の活動も停止状態で発刊が大幅に遅れました。本レターは季刊を予定していますので、次は秋に刊行予定です。

会員からの連絡および寄稿は ushajapan@gmail.com または Facebook までお願いします。皆様の近況報告や投稿をお待ちしています。